

発行日 2019年6月1日
 発行人 清水 文美
 編集 ミュージアムキッズ編集委員会
 委員 鬼本 佳代子☆ 加藤 小夜子 蒲池 昌江 齊藤 義朗 酒井 尚子☆
 作花 麻帆 芝 涼香 清水 文美 高瀬 優子 長井 大輔 細川 健裕
 細矢 芳 八木 剛 山下 治子 遊免 寛子 (☆今号編集長)
 コースレポーター 阿部 美里 上中 美来 工藤 玲奈 坂田 優希 佐藤 萌 中谷 朱里
 原田 遥夏 姫野 美樹 三宅 元氣 吉田 望里

発行 こだもひかりプロジェクト
 デザイン・DTP・印刷 (株)アム・プロモーション
 イラストレーション いよりふみこ ((有)アイツアーアソシエイツ)
 題字 佐藤いずみ



ミュージアムキッズ 9

2019.6.1

子どもたちの好奇心を、若者たちのチャレンジを、
私たちは、応援します。

ショップ&ワンダー アエル

〒980-6104 仙台市青葉区中央1丁目3-1 TEL 022-723-8000 URL <http://www.sendai-aer.jp/>

Shop and Wander
AER

Musée ミュゼ

ミュージアムに関わる
大人たちが、
ミュージアムをよくしようと
読んでいる雑誌
「ミュージアムキッズ」と
親子のような雑誌です。

発行/株式会社アム・プロモーション
〒108-0014 東京都港区芝 4-3-2-110
TEL.03-6453-7878 <http://www.musee-um.co.jp>

CIA は、ミュージアムキッズを
応援しています。

イベントプロデュース
ウェブサイト デザイン
デザイン&印刷
システム構築
映像編集
ブランディング

CIA

ブランドづくりのお手伝い。

株式会社 CIA 〒960-0719
福島県伊達市梁川町やなかわ工業団地90番地1
<http://www.cia.co.jp> TEL.024-577-0075 FAX.024-577-7676



🌸 ワークショップどきどき体験

見て、触れて、アートを楽しもう！新しくなった福岡市美術館！
明日に多くの夢がある！徳島県立あすたむらんど

🌸 全国ワークショップ@ミュージアム【2019年6月～2019年12月】

🌸 会いたい、ききたい！ユースインタビュー

南相馬市博物館 館長 堀 耕平さん
震災を越えて 子どもたちのためにミュージアムができること



Musée
から生まれた
キッズです

ミュージアムキッズ

2019.6.1

ミュージアムキッズについて

この冊子は、東日本大震災で被災した子どもたちを笑顔にしたいと集まったミュージアムの関係者たちによる団体「こども☆ひかりプロジェクト」が制作・編集しています。「こども☆ひかりプロジェクト」は、2012年の夏から東北各地で子どものためにワークショップ等を展開してきました。そのような経験から、展覧会だけでなく、ミュージアムの体験的な活動を紹介し、活用してほしいとこの冊子を作りました。なお、記事の取材・執筆に当たった「ユーススタッフ」(通称ユース)は、「こども☆ひかりプロジェクト」の運営をサポートしている仙台市を中心とした大学生たちです。全国の子どもたちと保護者の皆さまにミュージアムの活動と魅力を知っていただければ幸いです。

ミュージアムキッズ編集部

ご支援のお願い!

こども☆ひかりプロジェクトは、非営利の活動です。おかげさまで好評をいただき、この7年間で、しだいに活動が増えてきました。みなさまからの温かいご支援をお願いいたします。

あなたも
サポーターに!



ご支援の方法

こども☆ひかり倶楽部(賛助会員)にご加入!★★

年会費 個人一口3,000円
法人一口10,000円

一口500円カンパ!★

右記の口座へ、いつでもお待ちしております。

お礼 ★HPにご芳名掲載 ★ミュージアムキッズ 誌の送付ほか

振込先: ゆうちょ銀行
記号番号: 00980-1-195311
店名・種目・口座番号: ○九九店(店番099)
当座・0195311
名義: こども☆ひかりプロジェクト応援基金

ミュージアムキッズ 誌への広告協賛・フェアへの協賛も随時募集中。お問合せ、お待ちしております。
amk@kodomo hikari.com



目次



- 04 見て、触れて、
アートを楽しもう!
新しくなった福岡市美術館!
- 06 明日に多くの夢がある!
徳島県立あすたむらんど

- 08 全国ワークショップ@ミュージアム
[2019年6月~2019年12月]
- 12 ミュージアムなク・イ・ズ
- 13 おうちでできるミュージアムなたいけん
ミニ火山を噴火させてみよう
- 14 会いたい、ききたい! ユースインタビュー
南相馬市博物館長 堀 耕平さん
「震災を越えて子どもたちのためにミュージアムができること」
- 16 ミュージアムのすてきな人
兵庫県立人と自然の博物館 高瀬 優子さん
- 17 ミュージアムのそばにすてきな人
元仙台市長 奥山 恵美子さん
- 18 ママ、パパにおすすめミュージアムカフェ
ミュージアム Goods
ミュージアムなク・イ・ズ(こたえ)
- 19 ミュージアムキッズを入手するには?
編集後記
- 20 パートナーのご紹介

表紙写真: ひよこミュージアム in たなぐらまち「のまおいのサムライになってみよう」
2018年6月10日
棚倉町文化センター
撮影: 山下治子(アム・プロモーション)



**ワークショップ
どきどき体験1**

新しいキッズスペース！
おやおや？このオブジェ、
さっきどこかで見たような？

授乳室も完備！
おもしろいのが見つけた！
右はキッズスペース作者の
オーギカナエさん

かわいく
きまってるね～
このえに何が描かれてるかな？

土と溶かした
ロウソクを混ぜて…
何ができるかな～？

アワビの貝がら、
キラキラしてるね！

クレヨンでした！

さてさてどんな作品を
つくろうかな？

**見て、触れて、アートを楽しもう！
新しくなった福岡市美術館！**

公園の緑に映える美術館

福岡市美術館には、もともと2つ出入口があったのですが、今回の改修で、さらにもう一つ入口ができました。大濠公園から直接入ることができる新しい入口には、緩やかなスロープも付いていて、バギーでもすんなり入れます。

中に入ると、左側にはアジアの古美術を集めた「コレクション展示室」が、右側には以前は読書室だった場所にカフェができていました。2階に上がると美術図書が読めたり、チラシなどが手に入れたりする美術情報コーナーがあり、そこを左に進むとキッズスペース「森のたね」があります。さらに奥に進むと近現代のコレクション展示室と特別展示室の入口が見えてきます。展示室は一新され、見慣れた作品も全く違って見えました。

このようにリニューアルした福岡市美術館ですが、進化したのは内装だけでは

ありません。

キッズスペースもリニューアル！

福岡市美術館に訪れる数多くの来館者の中には、キッズスペース「森のたね」をめあてに遊びに来る方もいます。この場所は、ちびっこが初めてアートに触れ合える場所、を目指して作られました。もともとロビーのオープンスペースにありましたが、リニューアルオープンに際し、ちびっことその保護者が、もっとくつろげるスペースになるようにと部屋が分けられました。美術館のエッセンスがぎゅっと詰まったスペースで、ちびっこはどんな風を感じたり遊んだりしているのでしょうか？おやおや？クッション型のオブジェを壁から外したりつけたりして遊んでいますよ？担当の方にお聞きすると、壁画の裏には鉄板が仕込んであり、オブジェには磁石が縫い込まれているとのこと。さらに、オブジェ

のほとんどは美術館にある美術作品がモデルであり、壁画は大濠公園と福岡の街が元になっているそうです。例えばウサギのオブジェは、美術館入口にあるウサギの彫刻がモデルだったり、蓮の葉や鯉は《五彩魚藻文壺》という中国の古い壺の柄がモデルだったりします。この「森のたね」のデザインを手掛けたのは、福岡県久留米市在住のアーティストであるオーギカナエさんです。ここで遊んでいる子供たちはみな、心の底から楽しそうでした。ちなみに隣には、女性専用の授乳室と、パパも使える授乳室「赤ちゃんの休憩室」もあります。

リニューアル休館中の福岡市美術館

ところで、休館中には福岡市美術館はどんな子ども向けの活動をしているのでしょうか？ここでは二つご紹介いたします。一つ目は、「どこでも美術館」というア

ウトリーチ活動です。「やきもの」、「染め・織りもの」、「絵画・彫刻」、「素材と技法」の4つのテーマに沿った9種類の教材を準備し、要望のあった市内の学校や公民館に、学芸員が実際に出向き、美術作品を見たり、触れたり、作ったりするものだそうです。二つ目は毎年やっていた「夏休み子ども美術館」。休館中も休まず行っていました。昨年は、福岡市科学館とともに「美術と科学を楽しむ スペシャルワークショップ」と題し、2つのワークショップを実施しています。一つは、土とロウソクを使ってクレヨンを作るというもの、もう一つは、螺鈿細工をヒントに、アワビの貝殻とUVレジンで作品を作るというものです。科学館のスタッフは、「色のなぜ」、「アワビの貝殻がキラキラ光る仕組み」について話をし、美術館のスタッフは、「油絵と日本画の絵の具の違い」や螺鈿を使った作品の話をしなが、制作をしたそうです。

今後の福岡市美術館

この夏には、早速子どものための企画「夏休み子ども美術館」が開催されます。また、秋には、家族で楽しめるワークショップ企画「ファミリー DAY」が行われるなど、休館前から行なっていた活動も変わらず開催されるそうですが、休館中に実施していた「どこでも美術館」は、美術館に来にくい、あるいは来られ

ない子どもたちのために生まれ変わること。たとえば、離島や特別支援学校、院内学級などの簡単に美術館に来られない学校へ赴いて、教材を使ってワークショップなどを行うそうです。一方、市内の学校の先生に「どこでも美術館」の教材を貸し出すこともする予定です。

アートを見るだけではなく“触れる”ことで今まで見てきた景色も違って見えてくるはず。福岡市美術館では、アートに“触れる”イベントやコーナーが沢山あります。皆さんも是非、福岡市美術館へ自分の知らなかった自分を探しに行きませんか？ (三宅元氣、姫野美樹)

福岡市美術館

〒810-0051
福岡市中央区大濠公園 1-6
TEL：092-714-6051 (代表)
FAX：092-714-6071
URL：https://www.fukuoka-art-museum.jp

● イベント情報

**夏休み子ども美術館 2019
「美術のひみつ～昔の美術編」**

● 日程 7/30 (火)～9/29 (日)

美術作品は何でできているの？どこから来たの？どういうところが面白いの？そんな秘密を伝える展覧会。学芸員のとっておきの話も紹介します。

● 日程 8/3(土)

● 時間 10:00～15:00

対象 小学校3年生～中学生 定員 20人
参加費 無料 申込 要申し込み。詳細はホームページをご覧ください。

日本画にチャレンジしよう

● 日程 11/2(土)～4(月・休)

● 時間 10:00～15:00

対象 未就学児童から中学生までとその保護者
定員 プログラムによる 参加費 なし 申込 なし

親子で楽しめるワークショップや鑑賞プログラムを実施します。開催時間中、いつでも参加できるワークショップもあります。

● 開館時間 午前9時30分～午後5時30分
7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館
(入館は開館の30分前まで)

● 休館日 月曜日/12月28日～1月4日
(月曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日)

● 観覧料
コレクション展：中学生以下 無料
高生 150 (100) 円
一般 200 (150) 円
() 内は20名以上の団体料金
特別展：展覧会により異なりますので、お問い合わせください。



月面散歩で気分は宇宙飛行士♪



材質の違うボールを転がして速さをくらべるよ



人間サイズのかぶとむしと力比べ!どっちが強いかな?



ぐにやぐにやした絵を鏡でできたボールに写すと…?!



身近にあふれている不思議に興味しんしん!♪



企画事業部展示グループの石川さん♪



明日に多くの夢がある! 徳島県立あすたむらんど

徳島県にある「あすたむらんど」は、明日に多くの夢がある場所を意味しています。遊びや体験を通して科学する心を育てる「子ども科学館」を中核施設とした、科学と自然に触れる大型公園です。子ども科学館の他にも、プラネタリウム、小舟に乗って移動する吉野川めぐり、幻想的な万華鏡の映像が楽しめる四季彩館、工作や実験を楽しめる体験工房、滑り台や噴水を中心に町中の公園には設置されていない珍しい遊具を備えた広場など、親子で楽しめる施設があります。

今回ご紹介する子ども科学館の常設展示場は、「宇宙と地球」、「生命と環境」、「科学技術と人間」の3つのコーナーに分かれています。それぞれのテーマに合わせたたくさんの展示があり、見たり、触ったり、身体を動かしたり、楽しい体験が出来ます。企画事業部展示グループの石川さんに特におすすめの3つの展示をご案内いただきました。

月の重力を体験してみよう!

宇宙と地球の不思議をたっぷり体験できる「宇宙と地球」コーナーにある「ムーンウォーカー」は、地球の重力の約6分の1である月で散歩する感覚を疑似体験できる装置です。左右180°の範囲で自由に動くアームに連結された椅子に座って体験するこの装置は、体験者の体重に応じておもりの位置を変えてシーソーのバランスを調整し、空気圧でクッションを作り出すことで月面と似た条件を作り出します。(このページの一番左の写真) あたかも月の上を飛び跳ねているようなふわふわと浮いている感覚が楽しめるので、体験していた子ども達はとても楽しそうに何度も飛び跳ねていました。筆者も体験したところ、軽くジャンプしただけで予想以上に身体が飛び上がり、「今までの人生で1番高くジャンプできた!」と感動しました。地球にいながら月面散歩の感覚を味わえるこの体験は、子どもたちにとって素敵な思い出になると思います。

真っ暗な部屋で触覚を研ぎ澄ませてみよう!

「いのちと自然の不思議に出会う」ことをテーマにした「生命と環境」にある「真っ暗な部屋」は幅75cm、全長約20mの全く光の入らない迷路のような空間の壁を触りながらゆっくりと出口まで進む体験型の展示です。壁には人工毛皮、ステンレス、コルクなど様々な素材が貼り付けられています。入ってみると本当に真っ暗で、前も横の壁も全く見えない状態です。ペタペタと壁を触りながらゆっくり進んで行きましたが、約20mという本当の距離よりも長く感じました。真っ暗で何も見えないぶん、触覚に意識が集中するので壁の素材が変わった!ということに敏感に感じ取ることができます。最初は何も見えず、「ちょっとこわいかも!」と思いましたが、進んでいくにつれて、「壁がやわらかくなった!」「床がふわふわだ!」など色々なことを発見でき、どんどん楽しくなりました。外に出た瞬間はとても達成感が

得られました。実は中には暗視カメラが設置されており、外のモニターテレビで内部を見ることが出来ます。お友達が中にいる様子を見るのもとても楽しいと思います。

視覚に頼らず、手足の感覚だけを頼りに歩くという体験を通して、たくさんの学びや気づきを実感して欲しいです。訪れた際には是非体験してみてください。

身近なところにも不思議がいっぱい! サイエンスショー

最先端の科学技術で身近な不思議から驚きまで体験できる「科学技術と人間」コーナーの「サイエンスキッチン」では毎日2回、実演担当者によるサイエンスショーが行われています。各回違う内容になっているので、両方見ても楽しむことができます。私たちは「色と光のふしぎ!」というショーを見ました。「三色のライトを使って、二色ずつ混ぜたら何色に見えるかな?」「三色全部混ぜたらどうなるかな?」「ライトの影は何色に見える?」などと担当者のお姉さんがたずねると、子どもたちから次々と声があがっていました。実験しながら科学の不思議を一緒に考えるプログラムに子どもたちも夢中でした。大人が見ても発見するこ

とが多く、驚きの声があがっていました。サイエンスショーは日常生活で身近にあるものを題材にしています。いつも見ている身近なものにも不思議がいっぱいあるということに気付くので、色々な疑問を持ち、さまざまなことに興味を持つきっかけになるのではないのでしょうか。使っていた実験の道具は家にあるもの、手に入りやすいものも多かったのも、自分で実験してみることもできます。ぜひ、サイエンスショーで、不思議で楽しい科学を体験してみてください。

「あすたむらんど徳島」の中にある「子ども科学館」の全ての常設展示は、どのコーナーも子どもたちの好奇心を刺激する工夫がされており、楽しい体験しながら科学の不思議を学ぶことができます。もちろん、子どもだけでなく大人も楽しめます。丸1日あっても遊び尽くせない!と何度も足を運びたいそんな魅力の詰まった場所です。夏休みにも楽しいイベントが沢山開かれる予定なので、是非ご家族で遊びに行ってみてはいかがでしょうか。(上中美来、坂田優希)

*「ムーンウォーカー」は安全性を確保するため、身長110cm以上かつ体重20kg以上の方のみ体験できます。

徳島県立あすたむらんど

〒779-0111
徳島県板野郡板野町
那東字キビガ谷 45-22
TEL: 088-672-7111



- 開館時間 9:30 ~ 17:00
※7月1日~8月31日は18:00まで
※四季彩館・吉野川めぐり・子ども科学館の利用は開館30分前まで。
- 休館日 毎週水曜日
(祝日の場合は翌日、8月の水曜日は除く)
- アクセス 徳島バスあすたむらんど下車すぐ/JR板野駅から車で5分/徳島自動車道・藍住ICから車で15分/高松自動車道・板野ICから車で5分/神戸淡路鳴門自動車道(高松自動車道)・板野ICから車で5分

- ベビーカー 貸出し可
- 授乳室 あり
- トイレ 子ども用あり

あそびのワンダーランド

- 日程 6/16(日)、7/7(日)、8/25(日)、9/15(日)、10/20(日)、11/17(日)、12/1(日)
- 時間 11:00 ~ 14:00
- 対象 幼児とその保護者 定員なし 参加費なし 申込 不要



幼児のお子様を対象に月1回開催!あすたむらんどで思いっきり遊ぼう!毎月テーマが変わるよ!

全国 ワークショップ @ ミュージアム 2019年6月~2019年12月

ミュージアムデビューは、ワークショップから。
全国のミュージアムで行われるワークショップ、
体験型プログラムのオススメ情報です。

どのミュージアムの
どのワークショップで
デビューしよう？



— ご注意 —
プログラムの参加費が必要ないものでも、入館料が必要な場合もあります。また、事前申し込みのプログラムでは定員に達して締め切っている場合もありますのでご了承ください。詳しくは各館のホームページなどでご確認ください。

★このコーナーで紹介しているワークショップは一例です。各ミュージアムは新しいワークショップを続々と企画、実施しています。最新の情報は各ミュージアムのホームページをチェックしてくださいね！

ほっかいどう

野外博物館 北海道開拓の村
北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1
TEL.011-898-2692



お米を釜で炊いて食べよう

●日程 10/12(土)、10/13(日)、10/14(月・祝)
●時間 10:00~13:00

対象 小学生以下の子どもとその保護者
定員 各日5組10名 参加費 あり(1,500円)
申込 要(開催1か月前より)



昔の人の食事はどのようなのかな？親子で一緒に体験してみよう！(特別展「北海道と米〜米・稲・飯ものがたり〜」関連イベント)

あおもり

青森県立 三沢航空科学館
青森県三沢市大字三沢字北山 158
TEL.0176-50-7777



紙飛行機工作

●日程 毎日(都合により休止する場合があります)
●時間 11:30~12:30 13:00~14:00
15:00~16:00

対象 なし※未就学児保護者同伴 定員 各回6名
参加費 なし 申込 不要(当日1時間前から受付)



紙を切り貼りするペーパークラフトで飛行機をつくれます。自分で作った飛行機を調整して、良く飛ぶ形を見つけよう。

青森県立美術館
青森県青森市安田字近野 185
TEL.017-783-3000



子どもアトリエ

●日程 5/18(土)、7/13(土)、9/28(土)、11月23日(土)
●時間 10:00~15:00(昼休憩12:00~13:00)

対象 小学生以下(要保護者同伴)
定員 なし 参加費 なし 申込 不要(当日受付)



「子どもアトリエ」で青森県立美術館の収蔵作家にちなんだ作品や、自分の好きな作品を作ってみませんか。みなさんぜひ遊びに来てください。

いわて

岩手県立児童館 いわて子どもの森
岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子 1468-2
TEL.0195-35-3888



森であそぼう

●日程 6/9(日)、8/24(土)、9/28(土)、10/19(土)、11/10(日)、12/7(土)

●時間 13:00~15:00 ※内容によって変わります
対象 あり※内容によって変わります
定員 あり※内容によって変わります
参加費 あり※内容によって変わります 申込 要



森のなかには、フシギがいっぱい。見たり聞いたり、触ってみたり、カラダとココロで森を感じよう。※月ごとにテーマを設けて遊びます。

みやぎ

スリーエム仙台市科学館
宮城県仙台市青葉区台原森林公園 4番1号
TEL.022-276-2201



チャレンジ・ラボ

●日程 毎日
●時間 10:30~11:30、14:00~15:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



起き上がりこぼしの作品例

7月は、起き上がりこぼし(土日祝)、アルソミトラを飛ばそう(毎日)です。工作・実験メニューは月替わりなのでHPでチェックしてね★

仙台市富沢遺跡保存館 (地底の森ミュージアム)

宮城県仙台市太白区長町南 4-3-1
TEL.022-246-9153



地底の森フェスタ 2019

●日程 10/14(月・祝)
●時間 10:00~15:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし(館内に入る場合には入館料が必要です) 申込 不要(当日受付)
雨天の場合は、体験コーナーの内容を一部変更して開催します。



毎年恒例のお祭りです。「やり投げ」など、楽しいコーナー盛りだくさん！お昼ごろには地底の森スープや石蒸し料理の試食も予定しています。

ふくしま

アクアマリンいなわしろ カワセミ水族館

福島県耶麻郡猪苗代町長田東中丸 3447-4
TEL.0242-72-1135



オリジナルキャンバスエコバッグ作り

●日程 随時
●時間 開館中

対象 なし 定員 なし 参加費 Sサイズ500円 Mサイズ700円 申込 不要



企画展や季節によってスタンプ柄が変わります。カワウソ、カワセミなど様々なデザインをご用意してお待ちしています。

ムシテックワールド (ふくしま森の科学体験センター)

福島県須賀川市虹の台 100
TEL.0248-89-1120



サイエンスフェスタ 2019

●日程 8/25(日)
●時間 9:00~16:30

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



須賀川市や近隣地域の企業・団体と協力し実施する科学の祭典。科学を身近に体験できるさまざまなプログラムを提供します。

霊山こどもの村 遊びと学びのミュージアム

福島県伊達市霊山町石田字宝司沢 9-1
TEL.024-589-2211



虫たちに会いに行こう

●日程 6/23(日)
●時間 11:00~14:00

対象 なし 定員 15組 参加費 ひとりにつき300円(お茶・おむすび代として) 申込 事前電話予約制



講師:三田村敏正(福島虫の会) 園内を散策して、自然の中に隠れたいろいろな虫たちを探してみよう。どんな出会いがあるかな？雨の日は、蚕の繭糸とり♪

ぐんま

群馬県立 ぐんま昆虫の森

群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1
TEL.0277-74-6441



どんぐりまつり

●日程 11/23(土)、24(日)
●時間 10:00~12:00 13:30~15:30

対象 一般 定員 各50名 参加費 なし
申込 不要(当日受付)



どんぐりを使って工作、ゲーム、学び、遊びが楽しめるイベントです。

ちば

千葉市科学館

千葉県千葉市中央区中央 4-5-1
TEL.043-308-0511



たんQひろば「はっけん!教室」

●日程 毎週土日に開催
●時間 11:00~11:20 13:00~13:20

対象 小学2年生以下 ※要保護者同伴 定員 10組
参加費 なし 申込 不要(当日受付)



子どもと保護者と一緒に楽しめる体験プログラムに参加してみよう!

とうきょう

ちひろ美術館・東京

東京都練馬区下石神井 4-7-2
TEL.03-3995-0612



ちひろの水彩技法ワークショップ

●日程 8/5(月)、8/6(火)、8/7(水)
※内容は各回異なります
●時間 10:30~(定員に達したら終了)

対象 5歳以上 定員 先着80名
参加費 なし ※別途入館料 申込 不要(当日受付)



ちひろが得意とした水彩技法の「にじみ」を体験する人気のワークショップです。

伊勢半本店 紅ミュージアム

東京都港区南青山 6-6-20
K's 南青山ビル 1F
TEL.03-5467-3735



夏休み子ども自由研究「紅ってなあに」

●日程 7/27(土)
●時間 ①10:30~12:00 ②14:30~16:00

対象 小学3・4年生とその保護者
定員 各回5組10名 参加費 なし 申込 要



紅を点したり、文字を書いたり、紅染めのお菓子を食べたり。色々な体験を通して「紅」について詳しくなろう!紅職人の技も間近で見ることが出来ます。

Mirakan 日本科学未来館

東京都江東区青海 2-3-6
TEL.03-3570-9151

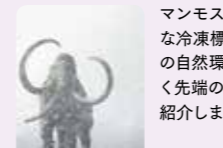


企画展「マンモス展」

●日程 6/7(金)~11/4(月・休)(※7/23・30、8/6・13・20・27、10/22を除く火曜日は休館)

●時間 10:00~17:00

対象 なし 定員 なし 参加費 大人(19歳以上)1800円、中人(小学生~18歳)1400円、小人(4歳~小学生未満)900円 申込 不要



マンモスやさまざまな生き物の貴重な冷凍標本を通してその生態や当時の自然環境に迫り、古生物を取り巻く最新の生命科学研究についてもご紹介いたします。

とやま

魚津水族館

富山県魚津市三ヶ 1390
TEL.0765-24-4100



ワンタッチさわりウム

●日程 9/14(土)~16(月・祝)、21(土)~23(月・祝)
●時間 10:00~15:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし ※別途入館料 申込 不要



深海生物ふれあい水槽をはじめ、様々な生物に指一本でツツンしてみよう。ふれあい体験です。

いしかわ

金沢21世紀美術館

石川県金沢市広坂 1-2-1
TEL.076-220-2800



平日「まるびい・すくすくステーション」
休日「ハンズオン・まるびい!」

●日程 別プログラムで閉室する場合があります。詳しい開催日時や内容は美術館HPでご確認ください。



平日火~金は乳幼児のお散歩コースに、休日は子どもから大人まで思い切り素材と表現の時間を楽しめるよう、キッズスタジオを開いています。親子でご利用ください。

ぎふ

岐阜県現代陶芸美術館

岐阜県多治見市東町 4-2-5
(セラミックパーク MINO 内)
TEL.0572-28-3100



季節のワークショップ 土の風鈴をつくろう

●日程 7/6(土)
●時間 13:30~15:30

対象 小学生以上 定員 14名 参加費 500円
申込 要事前申込(6/1より電話にて受付)



夏ももうすぐそこ。暑い日を涼やかに彩る風鈴を、やきものでつくりましょう。

美濃加茂市民ミュージアム

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
TEL.0574-28-1110



森の音づくり講座

●日程 9/7(土)、8(日)
●時間 10:30~11:30

対象 なし 定員 40名 参加費 なし 申込 不要



森の材料などを使って、音の出るおもちゃを作ります。

しずおか

静岡科学館る・く・る

静岡市駿河区南町 14-25
エスパティオ 8～10F
TEL.054-284-6960



めばえのかがかく 「蛍光ペンでぬり絵をしよう・夏」

●日程 7/6(土)、20(土)
●時間 ①10:30～11:30受付②13:30～14:30受付

対象 未就学児とその保護者 定員 なし 参加費 なし
申込 不要



小さなお子さまのはじめの科学体験を親子で楽しもう！今回は蛍光ペンでぬり絵をして、ブラックライトを当ててみよう。

あいち

名古屋市美術館

名古屋市中区栄 2-17-25
TEL.052-212-0001



ちびっこオアシス

●日程 8/24(土)、25(日)、9/15(日)、16(月祝)
●時間 9:30～17:00

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



簡易授乳スペースや、小さなお子さんでも楽しめる活動を用意した、休憩コーナーを設けます。くつろいでいってね。

しが

滋賀県立琵琶湖博物館

滋賀県草津市下物町 1091
TEL.077-568-4811



みんなで「かいこ絵日記」をつくろう！

●日程 7/13(土)～8/31(土)
●時間 9:30～16:30

対象 なし※小学3年生以下は保護者同伴
定員 なし※混雑時は人数制限 参加費 なし
申込 不要(当日受付)



かいこの観察日記をみんなでつくります。今日のかいこの様子を記録して次の日のお友達へバトンタッチをしよう！

東近江市能登川博物館

東近江市山路町 2225
TEL.0748-42-6761



夏の夜の昆虫観察会

●日程 8/3(土)
●時間 19:30～21:00

対象 なし※保護者同伴 定員 30名 参加費 なし
申込 要(7/13(土)10:00～電話受付・先着順)



地域学芸員さんと一緒に、博物館の周辺にいる夜の生き物を観察しよう！

きょうと

宇治市源氏物語ミュージアム

京都府宇治市宇治東内 45-26
TEL.0774-39-9300



ハナちゃんお面を作ろう！

●日程 8/11(日)～13(火)
●時間 10:00～15:30

対象 幼児以上(幼児は保護者同伴)
定員 各回とも50名(材料がなくなり次第終了)
参加費 材料費300円 申込 不要



宇治市源氏物語ミュージアムオリジナルアニメに登場するキャラクター、ハナちゃんのお面を作ります。

おおさか

国立民族学博物館

大阪府吹田市千里万博公園 10-1
TEL.06-6878-8560



夏休み子どもワークショップ「フィールドワークに挑戦！-極寒！-40℃のくらし」

●日程 7/28日(日)
●時間 10:30～16:00

対象 小学4年～6年生 定員 12名 参加費 500円
申込 事前申込制(7/3(水)申込開始/先着順)



夏休みの自由研究はみんなよくでチャレンジ！どんなに寒い地域にも、豊かにくらし人びとがいます。1日研究者になって、シベリアに住む人びとのくらしを調べよう！

箕面公園昆虫館

大阪府箕面市箕面公園 1-18
TEL.072-721-7967



昆虫ふれあい

●日程 土・日・祝
●時間 11:00～11:30 14:00～14:30

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要
10月～11月の紅葉シーズン中などの繁忙期には実施しないことがあります。



生きている昆虫を手にとってふれてみよう！

ひょうご

キッピー山のラボ (三田市有馬富士自然学習センター)

兵庫県三田市福島 1091-2
TEL.079-569-7727



むしさんデビュー

●日程 7/2(火)～8/30(金)の平日
●時間 11:00～12:00

対象 乳幼児とその保護者 定員 なし 参加費 なし
申込 不要



むしをさわったことのないおともだち、今年の夏にむしさんデビューしよう！ダンゴムシやちっちゃいクワガタが待ってるよ。

佐用町昆虫館

兵庫県佐用町船越 617
TEL.0790-77-0103 (開館時のみ)



秘密基地で、いつでも、むしむしたいけん

●日程 4月～10月の土・日・祝日のみ開館
●時間 10:00～16:00

対象 幼児～小学生推奨 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



山間にひっそりとたたずむ、とても小さな昆虫館です。いろんな虫をさわったり、お絵かきしたり、お庭で自由に虫とりができます。

兵庫県立人と自然の博物館

兵庫県三田市弥生が丘 6
TEL.079-559-2001



ひとはく Kids サンデー

●日程 6/2(日)、7/7(日)、8/4(日)、9/1(日)、10/6(日)、11/3(日)、12/1(日)

●時間 10:00～16:00

対象 推奨年齢の優先あり 定員 一部あり
参加費 なし 申込 不要



ひとはくでは、月の第1日曜日を「Kids サンデー」と呼び、小さな子供達が参加できる、自然や生き物に関する色んなプログラムを用意しています。

兵庫県立美術館

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
TEL.078-262-0908



夏休みスペシャル 2019

●日程 8/10(土)、11(日)
●時間 10:30～15:30

対象 こども優先 定員 一部あり 参加費 なし
申込 不要(当日受付)



美術館で、みて・つくって・感じるワークショップに参加しませんか？夏休みだけの特別な2日間です。いろいろなことに挑戦してみよう！

兵庫県立考古博物館

兵庫県加古郡播磨町大中 1-1-1
TEL.079-437-5564



古代の家を作ってあそぼう

●日程 8/12(月・祝)
●時間 13:30～15:00

対象 小学生以下(保護者同伴) 定員 20組
参加費 なし 申込 当日13:00～受付



段ボールなどで古代の家を作ります。

兵庫陶芸美術館

兵庫県丹波篠山市今町上立杭 4
TEL.079-597-3961



夏休み！1日まるごとこどもの日

●日程 7/21(日)
●時間 9:30～15:00

対象 なし※一部保護者同伴 定員 一部定員あり
参加費 一部あり 申込 不要(当日受付)



美術館で1日楽しく過ごせるこどもの日を開催します。オープン給付、ろくろ体験、美術館探検ツアーなど、ワークショップ多数！

こうち

高知みらい科学館

高知市追手筋 2丁目 1-1
オーテピア 5F
TEL.088-823-7767



ミニかがく教室

●日程 毎週日曜日
●時間 10:00～12:00(受付/9:30～11:30)
14:00～16:00(受付/13:30～15:30)

対象 なし※小学2年生以下は保護者同伴 定員 なし
参加費 なし 申込 不要(当日受付)



かんたんな実験や工作を通して科学の楽しさに触れあうことができます！親子で一緒にふしぎやおもしろさを体験してみませんか。

ふくおか

久留米市美術館

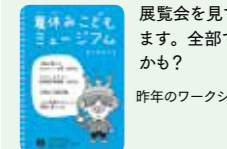
福岡県久留米市野中町 1015
TEL.0942-39-1131



夏休みこどもミュージアム

●日程 7/20(土)～9/8(日)
●時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

対象 小中学生 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



展示会を見てワークシートの質問に答えます。全部できたらごほうびがもらえるかも？
昨年のワークシート

九州国立博物館

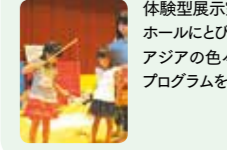
福岡県太宰府市石坂 4-7-2
TEL.092-929-3294



いこうよ！あじっば夏祭り 2019

●日程 7/27(土)～28(日)
●時間 10:00～16:00(予定)

対象 なし※未就学児は保護者同伴 定員 プログラムによって定員あり 参加費 なし 申込 不要(当日受付)
詳細はHPで確認してね。



体験型展示室「あじっば」がミュージアムホールにとびだすよ！
アジアの色々な国の文化を身近に感じるプログラムを用意してまってるよ。

なら

橿原市昆虫館

奈良県橿原市南山町 6 2-4
TEL.0744-24-7246



夏休み自由研究相談会

●日程 8/18(日)
●時間 10:00～15:30

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



夏休みの自由研究の相談や、採集した昆虫や植物・岩石の名前を調べます。

しまね

島根県立三瓶自然館 サヒメル

島根県大田市三瓶町多根 1121-8
TEL.0854-86-0500



サヒメルきつずサンデー

●日程 毎月第三日曜日
●時間 イベントごとに異なる

対象 小学校低学年～未就学児 定員 なし※きつずプラネタリウムは170名 参加費 なし 申込 なし



「デジタル紙芝居」や、小さな子でも楽しめる「きつずプラネタリウム」、サヒメルマスコットキャラクターのテンピーに会える時間もあるよ。

おかやま

岡山県立美術館

岡山市北区天神町 8-48
TEL.086-225-4800



テープ！TAPE！てーぶ！2019・夏

●日程 8/11(日・祝)
●時間 13:30～15:30

対象 年中さんから小学校低学年さんぐらい※保護者同伴
定員 25人程度 参加費 なし 申込 事前申込み制(先着順)



セロテープをまるまる一巻使ってボールをつくったり、色んな色を使って床いっぱい大きな絵をみんなで描く、体をいっぱい使うワークショップです。

福岡市科学館 福岡市科学館

福岡県福岡市中央区六本松 4-2-1
TEL.092-731-2525



サイエンス☆どんたく

●日程 11月2日(土)～11月4日(月・休)
●時間 詳細はHPをご覧ください。

対象 なし 定員 なし 参加費 なし
申込 不要※イベントにより要事前申込の可能性もあり



科学にまつわる市民の祭り「サイエンス☆どんたく」では、地域の団体や学生などが集まり、サイエンスショーやワークショップなどを実施します！

ながさき

がまだすドーム (雲仙岳災害記念館)

長崎県島原市平成町 1-1
TEL.0957-65-5555



すいそうでかさいりゅう実験

●日程 6月～8月末
●時間 HP 参照
対象 なし 定員 20名 参加費 あり 申込 要予約
開催日と時間が決まっています。
HP をご確認ください。



すいそうの中で火山のふんかを再現!

長崎県美術館

長崎市出島町 2 番 1 号
TEL.095-833-2110



ウィークエンドミュージアム

●日程 6/15(土)、16(日)、7/6(土)、7(日)
8/31(土)、9/1(日)、10/12(土)、13(日)
●時間 土曜日 16:30～19:00
日曜日 10:00～12:00、13:30～16:00

対象 なし 定員 なし 参加費 ひとり 100円
申込 不要(当日受付)

6月:グリーンティングカードをつくらう
7月:ゆらきらデコレーション
8-9月:おてがるプチ版画
10月:ハロウィン・マスク
11月以降は未定です。



月に一度、土日に多彩なテーマでワークショップを開催します。どなたでも気軽にご参加いただけます。

くまもと

熊本県立装飾古墳館

熊本県山鹿市鹿央町原原 3085 番地
TEL.0968-36-2151



まる・さんかく・しかくで描こう
～古代絵画教室～

●日程 8/3(土)
●時間 10:00～15:00

対象 小学生以上 定員 30名 参加費 500円
申込 7/2(火)～7/31(水)



古墳時代と同じ材料で作った石版や絵の具を使って、装飾文様を描きます。古代の人々が何を思い描いたのか、想像してみませんか。

おきなわ

ワンダーミュージアム (沖縄こどもの国)

沖縄県沖縄市胡屋 5-7-1
TEL.098-933-4190



平和へのメッセージ

●日程 6/23(日)
●時間 11:45～12:05

対象 なし 定員 なし 参加費 なし 申込 不要



6/23の慰霊の日。平和について考え・感じる特別イベント。絵本の読み聞かせ、平和を祈る黙とう、最後にハトの形をした平和のメッセージ(カード)を館内に一斉に飛ばし子どもたちに届けます。

熊本博物館

熊本県熊本市中央区古京町 3-2
TEL.096-324-3500



子ども科学・ものづくり教室
「水中UFOキャッチャーを作ろう」

●日程 8/16(金)
●時間 13:30～15:00

対象 幼児・児童・中学生(小学3年生以下保護者同伴)
定員 25～30人 参加費 なし(入場料が必要ですが、熊本市内の小中学生は無料) 申込 熊博HP申込フォームか往復はがきでの申込



お魚(浮沈子:ふちんし)の浮力を上手に調整し、ペットボトルの中に沈めたリングを拾わせて遊びましょう!

沖縄県立博物館・美術館

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1
TEL.098-941-8200



ふれあい体験室ワークショップ
「ふれたい博士の封入標本」

●日程 7月～9月の毎週土曜日
●時間 ① 10:00～ ② 10:30～ ③ 11:00～
④ 11:30～ 各回 30分程

対象 5歳以上※小学3年生以下保護者同伴
定員 40人(各回10人) 参加費 400円
申込 不要(当日受付)



植物や化石、星砂などを樹脂の中に閉じ込めた「封入標本」をつくってみよう!

ミュージアムなクイズ

「もんだい」

わたしたちはふだん、たくさんの道具を使って生活しています。それらの道具の中には、昔と形(姿)が変わったものがたくさんあります。右の写真は、昔使われていたある道具です。このある道具、今ではすっかり違う形になっています。

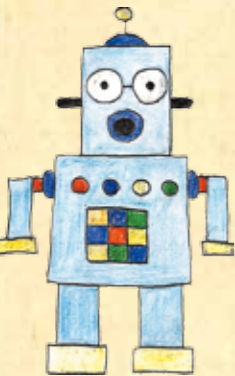
つぎの3つの中からこの道具をえらんでね!



さてどれだ?
こたえは
18 ページ!



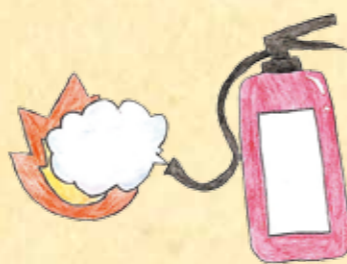
写真提供: 北海道開拓の村
文・イラスト: 阿部美里、監修: 細川健裕



① ロボット



② でんわき 電話機



③ しょうかき 消火器

おうちでできる
ミュージアムな
たいけん

ミニ火山を噴火させてみよう
Let's make a small volcano and watch its eruption!

材料

Material



【火山装置 for a small volcano】

- 紙コップ a paper cup 1つ
- ガムテープ packing tape
- 受け皿(プランターの水受けなど) a planter saucer
- 乳酸飲料の容器 a small plastic bottle 1つ
- アクリル絵の具 acrylic paint
- 筆 a paint brush 1本
- 紙粘土 paper-mache
- 石粉粘土 stone powder clay
- カッター a utility knife
- ハサミ scissors
- 石のかけら a pebble

【実験に使うもの for experiments】

- お酢 vinegar
- 重曹 baking soda

作り方
Procedure

さっそく始めましょう!



紙コップにカッターで切り込みをいれてハサミで切り分ける。
Make a cut in the paper cup with a utility knife and separate it into three parts with scissors.



①で作った紙コップの2つのパーツに1cm幅の切り込みをいれる。容器を受け皿の上にガムテープで固定する。
Make a notch 1 cm wide in each part with scissors. Fasten a plastic bottle to a planter saucer with packing tape.



小さいほうのパーツを受け皿にのせ、上をすぼめるようにし、ガムテープを一周巻いてとめる。その上に大きいほうのパーツをかぶせ、同じようにガムテープでとめる。
Cover the plastic bottle with the smaller part and fasten the upper part of it with packing tape. Then, cover it with the bigger part in the same way.



受け皿のすきまを紙粘土でうめた後、山の表面全体を石粉粘土で肉付けしていく。
★シワやヒビができないように粘土を手でなじませよう。
After filling the gap between the mountain and the planter saucer with paper-mache, put stone powder clay on the surface of the mountain.



石のかけらで山の表面をでこぼこにする。
Make the surface of the mountain rough with a pebble.



最後にアクリル絵の具で色をぬって完成!!
Finally, paint the mountain with acrylic paint of your favorite color.

遊び方
Let's do an experiment!

- ① お酢 15g を火山の中に入れます。
Pour 15g of vinegar into the mountain.
- ② 重曹 8g を火山の中に一気に入れます。すると...
- ③ ブクブクの泡がふき出します! みんなの火山はどんな風に噴火したかな?
Bubbles will spurt from the mountain! How does your small volcano erupt?



— ポイント! —

この火山が噴火したとき、安全だと思える場所にシールを貼ってみよう。実験後そこに泡は流れたかな? 実験をくり返してどんな場所が安全なのか考えてみよう。
★容器の大きさを変えたり、お酢や重曹の量を変えたりすると、噴火の仕方が変わるかも!? いろいろ試してみよう!

未来を担う子どもたちへ

震災を越えて 子どもたちのために ミュージアムができること

南相馬市博物館長 堀 耕平さん

震災から8年が過ぎた2019年3月に、福島県南相馬市で開催された「ミュージックフェア！ in みなみそうま」の会場には、子どもたちの笑顔と歓声が溢れていました。イベントの主催者でもある南相馬市博物館長 堀耕平さんに子どもの頃のこと、震災のこと、そして今の子どもたちに願うことをお聞きしました。

価値観を育んだ子ども時代

原田（ユース） 福島県出身の原田です。今日はよろしくお願ひします。早速ですが、堀さんの子どもの頃のことを教えてください。

堀 小学生頃までは、近所の子どもたちと野原や林で昆虫を、小川で小魚を捕ったりして遊びました。それと、家から少し離れたところに採石場があったので、土日になると自転車で行ってよく化石探しをしました。後でわかったのですが、南相馬には古生代から新生代の地層の露頭があって、化石採集にはとても条件のいい場所だったんです。とにかくいろいろなものを集めては調べ、ということに夢中になっていました。興味として、昆虫や魚、化石も、家の周りの自然や土地にどんなものがあるのかを知りたかったんだと思います。採った後は、図鑑などでどんな化石なのかを調べたりしました。採った化石が図鑑に載っている時はすごくワクワクしましたね。宝探しみたいでとても楽しかったのを覚えています。

工藤（ユース） 堀さんは魚捕りや化石採集を通して、宝探しのような体験をされたんですね。外遊びをたくさんされていたようですが、思い出に残っている本などはありますか？

堀 中学生の時に読んだ武者小路実篤の『真理先生』という本が記憶にあります。その本の印象は「人には人それぞれ

に個性があって、いろいろな見方ができる」というものでした。もしかしたらそういう趣旨ではなかったのかもしれませんが、「一つの物事にも単純にいい、悪いがあるわけではなくて、いろいろな価値観があって、物事を先入観にとらわれずに色々な見方や価値観で見てみるのが大切なんだな」という風に感じました。この印象は今でも物事を考えるときの物差しの一つになっています。

原発事故、それから

原田 震災から8年が経ち、福島は少しずつ復興に向かっていますが、改めて当時のことをお聞かせいただけますか。

堀 震災後の原発事故により、原発から半径20km圏内の小高区の人たちは全員避難しなければならなくなりました。原町区、鹿島区でも原発災害の危機感から、自主避難のほか、市も集団避難を呼びかけました。こうして、不安な避難生活を経験した子どもたちがとても多かったんです。その後、原発の状況が落ち着き、インフラ整備など生活環境の改善が進むと人々がだんだんと戻ってきましたが、小さい子どものいる家庭はなかなか戻りませんでした。当時は外遊びも禁止同様で、避難区域が解除されても放射能汚染の不安を抱えている人が多かったんです。それで、どうしたら小さい子どもたちを楽しませることができるのか考えていました。そんな時に、



堀 耕平（ほり・こうへい）
南相馬市博物館長

1959年、福島県鹿島町（現南相馬市鹿島区）生まれ。明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒。1992年、原町市役所（現南相馬市役所）入職。以来、教育委員会で史跡整備や埋蔵文化財等文化財保護行政を担当。1995年に開館した野馬追の里歴史民俗資料館（現南相馬市博物館）の展示計画に携わる。2014年から現職。最近感動したことは、市内の篤内遺跡から、縄文時代晩期（約3千年前）のものと思われる編みカゴが、クルミが詰まった状態で出土したこと。

『こども☆ひかりプロジェクト』のことを知りました。

工藤 どのような経緯で一緒にイベントを企画するようになったのでしょうか。

堀 東北各地でのイベント活動のことを知って、地元の子供たちが参加できる機会があるといいね、と館職員と話していました。そんなときに別の係の仕事と一緒にしていた黒川さんからお話があって、2015年に『こども☆ひかりプロジェクト』に来ていただけることになりました。この



親子で工作を楽しみます

ときは会場の提供だけでしたが、普段見かけたことのない数の子どもたちや親子がたくさん参加してくれて、しかもすごく楽しんでくれていました。嬉しかったですね。その後、『こども☆ひかりプロジェクト』の清水さん、兵庫県立人と自然の博物館の八木さんから、自らイベントを企画することを強く勧めていただきました。ですが、自分たちで行うには人手の問題もあり、最初は本当にできるのかという葛藤がありました。でも、やっぱり子どもた



ユースの話に優しく耳を傾けてくださる堀館長

ちを元気にしたいという思いもあり、ついに2016年10月に「ミュージックフェア！ in みなみそうま」を開催しました。自らと言っても、他館との連携やイベントの準備の大半は、清水さん、八木さんに段取りしていただいたというのが実情です。お二人をはじめ、連携していただいた館には本当に感謝しています。イベントは、今もまだ周りの方々に頼っていることが多いのですが、子どもたちが楽しみながら学べたり、各ブースでお手伝いしていただいた高校生や大学生の有意な経験になればと思います。また、子育て世代の方には博物館の活動や連携について知っていただけたらと思っています。

次世代につなげる博物館

原田 今の子どもたちは、電子機器の発達などによって便利に生活できる一方、コミュニケーションに不安を抱えている子どもも多くなります。最後に、堀さんが子どもたちに願うことは何でしょうか？

堀 単純ですが、子どもたちには、元気に楽しくのびのびと成長してほしいというのが一番の願いです。スマートフォンやパソコンなどの電子機器が欠かせない生活や社会になっているからこそ、バーチャルではない実体験の幅を広げて欲しいと思います。そして、実際に体験したことを通して感性を磨き、想像力を広げながら、同時に科学的・論理的なものの見方や考え

方に結びついて欲しいと思っています。欲張りすぎですが、そうなることで、いろんな自分を発見し社会に必要なコミュニケーション能力を獲得してもらえたらいいと思っています。その環境づくりが大人や社会の仕事じゃないかと思っています。博物



なにができるかな？



いい音がするんだよ

館が少しでもそれに関与できるように、私たちは工夫や努力していくことが求められていると感じています。

堀さんにお話を伺い、子どもの頃に経験したことが大人になってもつながっていること、子どもの頃の実体験の大切さ



トンボはこうやって持つんだよ



野馬追の迫力が伝わります

が心に残りました。現在はスマートフォンやゲーム機で遊んでいる子どもを多くみかけますが、私たちユースも『こども☆ひかりプロジェクト』などの活動を通じて、子どもたちに実体験ができる機会を増やす手助けができればいいなと思いました。（原田遥夏、工藤玲奈）

南相馬市博物館

〒975-0051
福島県南相馬市原町区
牛来字出口194
TEL.0244-23-6421

- 開館時間 9時から16時45分まで
(最終入館は16時まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌平日)、年末年始
相馬野馬追最終日の7月29日
(月曜日は開館(翌日休館))

コハクをとってみよう

- 日程 8/18(日)
- 時間 10:00 ~ 12:00

対象 子ども～大人 (小学校3年生以下は要保護者同伴) **定員** 25名 **参加費** なし **申込要**

天然樹脂の化石で、宝石でもあるコハクが入った母岩から、コハクを取り出します。取り出したコハクはお持ち帰りができます。



兵庫県立人と自然の博物館 高瀬 優子さん

自然から教わったことを伝えていく

ミュージアムにあるのはモノだけじゃない！そこには必ず素敵な人がいるのです。私たちユースがこども☆ひかりプロジェクトで出会ったミュージアムで輝く大人を紹介します。

兵庫県立有馬富士公園は豊かな自然を活かした県内最大の都市公園。この中にある三田市有馬富士自然学習センター（キッピー山のラボ）のコミュニケーターをされていた高瀬優子さんにお話を伺いました。

—これまでどのような仕事をされていたのですか？

高瀬 今年の3月までは、キッピー山のラボを担当していました。ラボでは主に小学生以下の子どもたちを対象に、スタッフの子どもの頃の楽しかった思い出などをアイデア源にしながら、四季の自然を身近に感じてもらえるように企画・運営しています。他にも、ひとはくと協力して、ひとはくの研究員によるワークショップもしています。週1日は湊川短期大学で非常勤講師をしています。

—どうしてこの職業に就かれたのですか？

高瀬 大学には教師になるために入学しましたが、大学の教授の「人間というものは一生学んでいくものだし、一生変わっていくものだ」という一言に影響されて、社

会教育、生涯学習の方向に進むことに決めました。中でも環境学習の分野に興味を持ったのは子どものころから自然の中で遊ぶことが好きだったことでもあります。卒業後は迷いましたが、環境学習に関われる仕事を探し、ひとはくのフロアスタッフとして働きました。4年間勤めた後、もう少しワークショップのことや環境学習について勉強したくて、2年間東京の会社に勤めました。子どもの頃の楽しい体験が今の職業につながっていると思います。

—子どもの頃はどのような性格でしたか？

高瀬 今もそうですが、子どものころはのんびりでマイペースな性格でした。私はじっくり型で、幼稚園のウサギにあげるタンポポの葉っぱを取るのも1つ1つを厳選して取っていたそうです。すごくおしゃべりでもなかったのですが、どっちかと言えば引っ込み思案だったと思います。遊ぶことが好きだったので、友達の習い事のスケジュールを頭に入れて、その日に空いている友達に声をかけて遊んでいました。

—学生の頃の将来の夢はなんでしたか？

高瀬 小学校6年生の時は「いつまでも子どもでいること」が夢でした。とにかく遊ぶのが好きでした。小中学生の時は、習い事で劇団に入っていたこともあり舞台女優が夢でした。絵を描くことが好きなので、高校生の時は漫画家になることが夢でした。

—どんな遊びをしていましたか？

高瀬 小学生の頃は外で遊んでいて、特に木登りが好きでした。両親は遊ぶことを全面的に応援してくれていたため、冷蔵庫の中にあるもので料理実験をしても



怒られませんでした。服を汚しても、ケガしても、元気に遊んだ勲章として受け止めてくれていました。父の教育方針が「自然が教えてくれる」だったので、春はつくしを摘んで、夏はびわ取りをして、秋はしいのみを取っていました。他にも水路でドジョウをすくっていましたが、水路がコンクリート張りにされていたことに対して大人に怒っていました。とにかく、四季を感じながら、自然の中で遊ぶことが大好きでした。

—今後、プライベートでしたいことはなんですか？

高瀬 絵を今ちょっとずつ描いているので、個展を開きたいと思います。絵を描くのは生きものや自然物に触れてふと思いついたり、ニュースを見て思い浮かんだりしたときに描いています。仕事でも描いていますが、この10年くらいはなかなか描くこともできていないので、また少しずつ描き溜めていきたいと思っています。

—今後はどのようなことをされるのですか？

高瀬 4月からは、乳幼児の環境学習を支援する兵庫県の事業「ひょうごエココプロジェクト」の「こども環境体験コーディネーター」をしています。乳幼児を対象とした環境学習に取り組み、子どもたちの自然体験をサポートするサポーター（大学生など）の育成や、県内の幼稚園、保育園に向いて園庭で自然体験をするプログラムを実施する予定です。子どもの頃の自然の中での遊びの楽しさを忘れずに過ごされているのだと感じました。私も将来、自然の良さを忘れないようにしていきたいと思いました。

(中谷 朱里)



元仙台市長 奥山 恵美子さん

子どもの成長と「経験」

こども☆ひかりプロジェクトを、その活動のはじめからずっと応援し続けてくださっている奥山恵美子さん。2回目の寄稿となる今回は、ミュージアムと、こども食堂・プレイパークとを比較しながら、それらの活動が子どもにとってどのような意味があるかを述べられています。

先日、市内で子ども食堂を運営しているNPO 法人ストーリーアの佐々木さんにお目にかかった際、「この子たちには、もちろん、食事も大事なことですけれど、一番不足しているのは、経験じゃないかと思うんですよ」というお話をいただき、深く考えさせられました。

市営住宅の集会所で開かれているその食堂には、子どもたちに加えて、時には親御さんなども顔を出していますが、この地域には、シングルマザーの家庭も多く、母親たちの多くは、ダブルワークなどをこなしながら、かろうじて家計を支えているのだとか。なかなか子どもたちとゆっくり遊んだり、どこかへ出かけたりするゆとりは持てないようです。

大人に相手をしてもらう、子ども同士で遊ぶ、けんかをする、一人で過ごす。スポーツをしたり、本を読んだり、時には野山にでかけたり。さまざまな経験が、豊かな人生の土台となることは、誰も知るところですが、私たちが、今暮らしている社会では、そうした多様な経験を提供し、支える機能がだんだん低下しているのではないかと、そんな危機感を持った人たちが、仙台にもいます。

東京の世田谷で始まった「冒険あそび場」の活動をご存知の方も多いかと思いますが、仙台はその提唱者のお一人である大

村慶一さんとご縁もあり、子どもの遊びに関心をもつ人たちが集って、中心部に近い西公園でも、プレーパークの活動が始まりました。2004年頃のことです。震災の時には、1か月ほど中断を余儀なくされたものの、関係の方々の熱意や全国からのご支援で、早い時期に再開することができました。

3月の初旬に、西公園におじゃましてみると、大きな木々の立ち並ぶ公園の一角には、バスケットボールのリング、ぶらんこなどの他、なんとすもう場も！ただ単純に走り回るのが楽しいという一団はひたすら駆け回り、ふと見ると、機材置き場の屋根にのぼり満足げな子どもの笑顔。のこぎりで木を切り、たき火をすることもできるので、べっこう飴づくりもお手のもの。自分の責任で自由に遊ぶという冒険あそび場の精神が、生き生きと発揮され、子どもたちがそれとは気づかずに、貴重な経験を積み重ねていることを頼もしく思いました。

さて、振り返って、ミュージアムと子どもたちについて考えてみると、ミュージアムから発信するワークショップが、多くの子どもたちや保護者の方々に、ふだんは経験することのない、面白いもの、珍しいもの、キラキラなものとして人気を博していることは間違いありません。昨年京都での全国フェアでも、そのことを強く感じました。



カフェを体験 お勘定は…あら？計算が合わない?!



子ども食堂 今日はカレー！みんな揃って晩ご飯



奥山恵美子さん

1975年仙台市役所入庁。消費経済課、生涯学習課等を経て、せんだいメディアテーク館長、市民局次長、教育長等を歴任。2009年8月仙台市長就任。2017年8月退任。

震災の翌年、仙台で始まったこども☆ひかりフェスティバルは、全国に仲間を増やし、ユースの育成にも力を注いで、着実に進化・発展を遂げてきました。被災地の支援にミュージアムが立ち上がったということが、まずもって画期的なことでしたし、国立、県立、市立の垣根を越え、さらに企業の方々ともスクラムを組んだことは、社会教育の世界では、稀有なことと言ってもよいでしょう。

そうした素晴らしい成果の上で、今後に向けて気になるのは、ミュージアムが子どもたちの日常とどこまで幅広い接点を持っているかということです。年に1度、学校の先生に引率されて、もしくは親に連れられて行く高根の花みたいなところになっているとしたら、いかにも残念です。ミュージアムが施設にこもらず、外に飛び出すと同時に、時には、先生や保護者以外の大人が子どもとミュージアムの橋渡し役になることがあっていいのではないかと。ミュージアムの持つノウハウを外の人たちに使ってもらうように、おすそ分けすることもいいかもしれない等々。ミュージアムと子どもたちがさらに仲良しになるために、子ども食堂や各地のプレーパークの人たち、幼稚園や児童館の先生などと、もっとお近づきにならなくてははいけないなと思い始めた春です。



西公園プレーパーク 大きな将棋盤で遊ぶ子どもたち



キッピー山のラボにて

個人の活動で描いたチョウチョのドレスのイラスト

ママ、パパにおすすめ

ミュージアムカフェ

展覧会を見たあとにちょっと休憩。そんなとき気になるのがミュージアムのレストランやカフェ。お子さん連れならなおのことです。そんなレストランやカフェをご紹介します。

☕ **イエナコーヒー** (福岡アジア美術館)



福岡市博多区にある福岡アジア美術館は、今年で開館20周年。その節目を迎えるにあたって、昨年美術館のラウンジだったスペースを大きく改装してライブラリーカフェを開設しました。その名も「アートカフェ」。アジア美術をはじめとする蔵書約6万冊の中から選りすぐった1万2千冊をカフェスペースに配置して、誰もが本を手にながらくつろいで過ごせるようになりました。

その際に楽しみたいのが「イエナコーヒー」のおいしい飲み物&軽食。新鮮な豆を自家焙煎したこだわりのコーヒーはもちろんですが、ほかにも梅シロップの豆乳ドリンクや柿とクリームチーズのホットサンドなど、お菓子や食事もすべて九州産のおいしい食材と、オーナー自ら育てた野菜やハーブなどを使用した、オリジナルレシピのおすすめメニューがいっぱい。アジアのスペシャルコーヒーや展覧会にちなんだ期間限定のメニューなども楽しめます。

アートカフェ内にはキッズコーナーもあって絵本の読み聞かせなども定期的に開催しています。そしてこのカフェではなんと持ち込みも可能で、離乳食や子ども向けの食事を準備して来ることもできるので、読み聞かせを目当てにカフェで待ち合わせをするママたちも多くなるようです。

福岡アジア美術館では、毎年夏休みに絵本をテーマにした企画展も開催していて、小さな子どもたちがママ、パパたちと気軽に美術館デビューできる場所です。コレクションギャラリーでアジア美術を楽しんだ後は、アートカフェでゆったりとしたひとときを過ごしませんか。(蒲池昌江)

福岡アジア美術館

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル7,8F
TEL: 092-263-1100



- ベビーカー貸出し可
- トイレ子ども用あり
- 授乳室あり

- 開館時間 10:00~20:00(入室は19:30まで)
※7月から下記になります。
開館:9:30~19:30(ギャラリー開室:~18:00、金土曜は~20:00)入室は閉館30分前まで
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月26日~1月1日)
- アクセス 福岡市営地下鉄「中洲川端駅」6番出口直結、「川端町・博多座前」バス停より徒歩すぐ

アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

- 日程 毎月第2・第4火曜日、第2・第4日曜日
- 時間 11:30~12:00、13:00~13:30
- 対象 未就学児および児童と保護者
- 定員 なし参加費なし申込不要

アートカフェ内のキッズスペースでボランティアがアジア各地の絵本や紙芝居を優しく語ります。大人だけの参加も歓迎です。



国立新美術館

〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
TEL:03-5777-8600 (ハローダイヤル)
新しい文化の発信基地! アートやデザインなどいろいろな展覧会を楽しめる美術館です。



ミュージアム Goods

キッズにおすすめ

SFTでおしゃれな東京土産をゲットしよう!

SFT(スーパーアフロムトーキョー)は東京的視点で新しいデザインやアートを発信しているショップです。たくさんのおアーティストや老舗のお菓子屋さんと一緒に商品を作っています。



テラダモキ 1/100 建築模型用添景セット 国立新美術館編 1,500円(税抜き)

家の中に国立新美術館を出現させてみよう! パーツを切り離して組み立てることができる添景(建築模型に添えられた人や植物など)セットです。人やイスを自由に配置して楽しめます。



SFTオリジナル 郷土玩具クッキー 400円(税抜き)

クッキーメーカー「Berry DECO」とコラボレーションしたアイシングクッキー。賞味期限が長く保存がきくので、飾って楽しむこともできます。可愛さと美味しさを兼ね備え、お土産に大人気な商品です!



SFTオリジナル マグネット 750円(税抜き)

クリエイティブユニット「Bob Foundation」のイラスト入りオリジナルシリーズ。美術館の建物や東京名所などが描かれています。好きなところにくっつけてみてください。

(文:佐藤萌 取材協力:国立新美術館)

ミュージアムなクイズ

こたえ ② 電話機



今から約140年前の明治時代には、このような電話機が使われ始めました。この電話機には、ボタンもダイヤルもなく直接相手の電話を呼び出すことはできませんでした。話したい相手の電話番号と自分の電話番号をつなぐ役割の人が必要でした。『となりのトトロ』(©1988 Studio Ghibli)でもこの電話とほぼ同じものが登場します。今は、スマートフォンを使えば遠くにいる人とも会話することができます。昔の人々は、目で見えないほど遠くにいる人とは、文字でしかやりとりできませんでした。電話を初めて使ったとき、姿かたちが見えていない人と同時に会話ができることに驚いたでしょうね。

ミュージアムキッズ! フェア

全国

『ミュージアムキッズ』誌で紹介しているたくさんのミュージアムを、一挙にリアル体験!

日時 2019年 11月9日(土) 11月10日(日)

場所 国立淡路青少年交流の家 〒656-0543 兵庫県南あわじ市阿万塩屋町757-39 TEL:0799-55-2695

対象 幼児・低学年児童推奨

参加費 無料

申込 不要(事前予約はできません)



令和元年、国生み伝説の島、淡路へ! 海、空、風...すてきな体験が、子どもたちを待ってるよ。

【ワークショップ出展館・団体(予定)】

北海道開拓の村、札幌市青少年科学館、青森県立三沢航空科学館、地底の森ミュージアム・仙台市縄文の森広場、南相馬市博物館、京都国立博物館、キッズプラザ大阪、兵庫県立人と自然の博物館、いなみ野水辺の里公園、九州国立博物館、福岡市美術館 ほか。

お問合せ

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立人と自然の博物館
子どもひかりプロジェクト事務局
TEL: 090-9119-2005 (清水)
E-mail: amk@kodomohikari.com



出展者や内容等、予告なく変更することがあります。直前情報は必ずホームページでご確認ください。
子どもひかり 検索
https://www.kodomohikari.com/



主催: 子どもひかりプロジェクト事務局

ミュージアムキッズ を入手するには? 下記の方法・場所です!

★「子どもひかり倶楽部」のメンバーになる

「子どもひかり倶楽部」のメンバーには特典として、ご指定の住所に年2回「ミュージアムキッズ」5部をお届けします。「子どもひかり倶楽部」の入会方法詳細は、2ページ「ご支援の方法」をご覧ください。

★この号を置いてくださっている施設 (FREE)

各館に置いてある部数には限りがございますので、予めご了承ください。

札幌市青少年科学館/野野博物館北海道開拓の村/青森県立三沢航空科学館/岩手県立こどもの森/仙台市縄文の森広場/地底の森ミュージアム/スリーエム仙台市科学館/せんだいメディアテーク/ショップ&ワンダーアエル/アクアマリンいなわしろカワセミ水族館/ふくしまの科学体験センター/ムシテックワールド/環境水族館アクアマリンふくしま/南相馬市博物館/霊山こどもの村/群馬県立くま昆虫の森/伊勢半本店 紅ミュージアム/ちひろ美術館・東京/日本科学未来館/新江ノ島水族館・なぎさの体験学習館/新潟市美術館/静岡科学館の・く・る/愛知県陶磁美術館/名古屋市美術館/岐阜県現代陶芸美術館/金沢 21 世紀美術館/東近江市能登川博物館/福原市昆虫館/京都国立博物館/宇治市源氏物語ミュージアム/国立民族学博物館/キッズプラザ大阪/箕面公園昆虫館/兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県立考古博物館/兵庫県立美術館/キッピー山のラボ(三田市有馬富士学習センター)/明石市立天文科学館/岡山県立美術館/島根県立三瓶自然館サヒメル/徳島県立あすたむらんど子ども科学館/高知みらい科学館/九州国立博物館/福岡市美術館/福岡アジア美術館/久留米市美術館/長崎県美術館/雲仙岳災害記念館/長崎ペンギン水族館/熊本県立装飾古墳館/熊本市立熊本博物館/沖縄県立博物館・美術館/ワンダーミュージアム(沖縄こどもの国)

★メールでのお申し込み

上記施設での配布数には限りがございますが、ご希望の方には5冊 1000円+送料で頒布いたします。送付先の郵便番号・住所・氏名・連絡先(メールアドレス)を添えて、メールにてお申し込みください。
【メール】 amk@kodomohikari.com

編集後記

- 今回二回目の「ミュージアムなクイズ」の担当をしました。テーマ選びや限られた文字数の中で伝えたいことを分かりやすく文章にするところに、難しさと楽しさを感じました。興味を持ってもらえるとうれしいです。(阿部 美里)
- 取材を通してとても楽しい経験が出来ました。沢山の方にあすたむらんど徳島の魅力を知って頂きたいです!(上中 美来)
- 今回の企画を通して、様々な事を聞かせていただきました。自分にとっての収穫も多く、とても良い機会でした。多くの魅力が沢山の方々に伝わってくれたら嬉しいです。この度はありがとうございました。(工藤 玲奈)
- 初めての原稿執筆!とてもよい経験でした。あすたむらんど徳島に行ってみたくて思っていただけで嬉しいです。(坂田 優希)
- ミュージアムへ行ったら、特色あるミュージアムショップにも立ち寄ってみてください。ショップ店員さんに商品の開発秘話やこだわりポイントを教えてください。より商品選びが楽しめると感じた取材でした。(佐藤 萌)
- 高瀬さんとは様々な共通点があり、大変盛り上がったインタビューでした。いつもなら聞くことのできない話を聞いて楽しかったです。(中谷 朱里)
- インタビューを通して堀館長さんから素晴らしいお話を伺うことができました。この記事を読んで博物館に興味を持っていただけたら幸いです。(原田 遥夏)
- 「アートといきる」という言葉を鬼本さんから聞いたとき、私も日常の中のふとした発見を大切にしたいと思いました!(姫野 美樹)
- キッズスペース「森のたね」のオブジェを踏まえて美術作品を見た時、「あ、これだ!」という発見がアートに触れる第一歩だと自分なりに感じました。(三宅 元氣)
- 今回は「ミュージアムな体験」のページを担当させていただきました。英語を入れるという新たな試みでしたが、どう訳せば分かりやすく伝わるかを考えながら楽しく執筆できました。より多くの方に読んでいただけたら嬉しいです。(吉田 望里)

『ミュージアムキッズ』vol.10も、お楽しみに!